

令和８年度乳幼児期の家庭教育支援啓発資料・動画企画制作等業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容
1	日 時	令和８年８月 28 日（金） 9 時 20 分から 10 時 25 分まで
2	場 所	県庁本館 1 階 103 会議室及びオンライン（Zoom）
3	出席委員	広島県教育委員会事務局乳幼児教育・生涯学習担当部長（兼）参与 総務局 広報課主事 環境県民局 学事課長 健康福祉局 子供未来応援課長 健康福祉局 安心保育推進課長 広島県教育委員会事務局管理部 総務課秘書広報室長 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部 乳幼児教育支援センター長
4	議 題	令和８年度乳幼児期の家庭教育支援啓発資料・動画企画制作等業務最優秀提案者の選定
5	担当部署	広島県教育委員会事務局学びの変革推進部乳幼児教育支援センター
6	開催方法	オンライン
7	議事内容	1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も得点が上位の提案となった株式会社広島リビング新聞社を最優秀提案者として選定した。 2 審査結果 (1) 審査対象者 ① 株式会社広島リビング新聞社 ② 株式会社トマトコーポレーション (2) 審査対象者の評価値 別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 (3) 審査結果及び選定委員の評価・選定理由 ① 株式会社広島リビング新聞社 ※最優秀提案者 ・ 啓発資料の企画・構成について、保護者のあるあるなど共感を呼べる内容で興味を引くことができ、内容も正解だけを押しつけるのではなく読者に寄り添ったものとなっており、読者に受け入れてもらいやすい内容だと感じた。 ・ 啓発資料の動画について、短くシンプルな構成を提案されており、SNS 世代にフィットする工夫がされている。 ・ アンケート調査について、様々な環境にある対象者の声を幅広く拾う工夫が具体的に示されており、今後の改善策への活用が期待できる。

		・ 「遊びは学び」の理解にとどまらず、実践し、子育て観の変容を後押しできる啓発資料・動画の作成と、効果の検証が期待できる。子育て世代の多様性を踏まえた構成やデザイン、調査方法をさらに工夫してもらいたい。 ② 株式会社トマトコーポレーション ・ 啓発資料の企画・構成について、保護者の身近な疑問に寄り添う形の導入となっており、また、内容も難しくなく気軽にできるものになっていると感じた。 ・ 動画について、啓発資料と一貫した印象にし、資料に繋がる工夫がされている。一方で、視聴者の記憶に残るインパクトが少し弱い。 ・ アンケート調査について、各種媒体を活用し、周知からアンケートまで繋がる工夫がされている。 ・ 趣旨を理解し、わかりやすい提案である一方で、保護者の共感を得、行動変容を促す具体的な提案がもう少しほしかった。
--	--	--